



おごおり

第427号

日本郵趣協会 小郡支部

第35巻 第10号 2025. 10. 1

国際文通週間初日カバー（平成 1年）



〒838-01

FIRST DAY OF ISSUE

平成元年10月6日

伊藤 泉 様

国際文通週間にちなむ郵便切手

国際文通週間にちなんで、平成元年10月6日(金)に80円及び120円郵便切手が発行されます。

〈国際文通週間について〉

国際文通週間は、世界の人々が文通によって文化交流に寄め世界平和に貢献しようという趣旨で、昭和32年の第14回万国郵便大会においてその設定が決まったもので、期間は万国郵便連合創設記念日の10月9日を含む1週間です。わが国では、今年は、10月6日から10月12日までです。切手は、キャンペーンの一環として、昭和33年以降毎年発行しています。

〈源氏物語絵巻について〉

源氏物語絵巻は、源氏物語の各帖から興味深い場面を選び出して描き、説明を加えたもので、平安時代後期(12世紀)の作品で、国宝に指定されています。絵の作者は、宮廷画家の藤原隆能ではないかと考えられています。定かではありません。

〈意匠について〉

80円切手の意匠には、源氏物語絵巻の中の宿木から、また120円切手については、源氏物語絵巻の中の竹河から、暮を打つ情景が描かれている部分を採用しました。源氏物語絵巻では、暮を打つ場面が描かれているのは、この二つだけですが、源氏物語では、ほかに空蟬や手習の巻にも対局の場面の記述があります。源氏物語においては、対局者は、宿木のものを除き、すべて女性であり、物語や日記の執筆など、宮廷女性の活躍が著しかった当時において、暮が女性の間にも普及していたことがうかがえます。

なお、正倉院には、聖武天皇(在位724~749)が使用したとされる、現存する最古の碁盤、木簡紫位碁局及び森木木簡碁局が保管されており、また、碁石についても、百濟國王義雄王が藤原鎌足に贈ったとされる、紅牙撥碁子(赤色の碁石)や紺牙撥碁子(紺色の碁石)などが残っています。いずれのものも美術工芸品として価値あるものです。

使
用

意
図

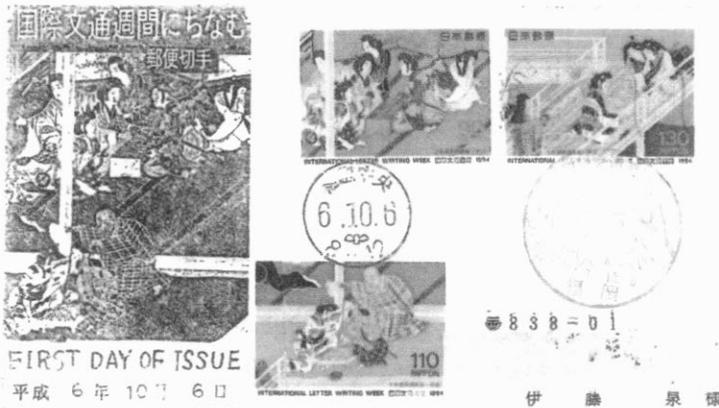
平16
発行

「国際文通週間初日カバー」

伊藤 泉

趣味の切手の初日カバーは昭和30年代より集めていました。当初は郵便普及協会より買い求めておりましたが、自作のカバーが作りたくて、最初に作ったのが昭和52年でした。当時の消印は特印と黒活印の2種類でした。平成になり特印は機械印の使用されるようになり(九州では福岡中央局のみ)手押特印、機械印と黒活ハト印の3種類を押印、実郵便で発送しております。今日展示するのは昭和52年から令和の現在に至るものです。

国際文通週間初日カバー (平成 6年)



国際文通週間にちなむ郵便切手

国際文通週間にちなみ、平成6年(1994)10月6日(休)に90円、110円及び130円郵便切手が発行されます。

〈国際文通週間について〉

国際文通週間は、世界の人々が文通によって文化の交流に努め、世界平和に貢献しようという趣旨で、昭和32年(1957)の第14回万国郵便大会においてその設定が決議されたものです。

期間は、万国郵便連合創設記念日の10月9日を含む1週間とされており、我が国では、毎年10月6日から同月12日までの1週間を国際文通週間で定めており、このキャンペーンの一環として、昭和33年(1958)以降、毎年「国際文通週間にちなむ郵便切手」を発行しています。

〈切手の意匠について〉

士女遊樂園昇風は、桃山時代から江戸時代にかけて盛行した遊樂園の中で、豪邸内における室内遊戯を主題としたものの一つとされています。

図柄は、六曲一双からなっており、その右隻に今回の題材として使用した「双六」、「将棋」及び「囲碁」のほか歌麩等を、また、左隻には内庭での輪舞や湯屋でくつろぐ情景等が描かれています。

描かれた時期は、江戸時代の寛永年間(1624~1643年)ごろであると考えられており、現在は、MOA美術館(静岡県熱海市)に所蔵されています。

- | | |
|-----|---------------------------------------|
| 種 類 | (A)90円郵便切手 (B)110円郵便切手
(C)130円郵便切手 |
| 意 匠 | 士女遊樂園昇風
(A)双六 (B)将棋 (C)囲碁 |

国際文通週間初日カバー（昭和55年）



8
3
8

伊藤 泉様

国際文通週間にちなむ郵便切手

国際文通週間にちなみ昭和55年10月6日に100円郵便切手が発行される。国際文通週間は、世界各国の人々が文通によって、言語、思想、習慣などの違いを越えて、お互いの知識を交換し、理解を深め、文化を交流し、世界平和に貢献しようという趣旨で設けられている。これは、昭和32年(1957年)カナダのオタワ市で開催された第14回万国郵便連合大会で、毎年、万国郵便連合創設記念日である10月9日を含む1週間を「手紙を書く週間」とし、各国ともそれぞれの国情に応じて、「国際文通週間」を設けることが決議されたことに始まる。

我が国における国際文通週間は、今年第24回目に当たり、10月6日から同月12日まで、各地で多彩な行事が催されることとなっている。

切手の意匠となった「鶴図」は、京都市右京区大覚寺の杉戸絵の一部で、鶴の流動的な美しさを写実的に表現している。

渡辺始典〔天和3年(1683年)～宝暦5年(1755年)〕は大覚寺と親しい関係のあった画人で、一般には尾形光琳の門人であったといわれているが、狩野系の作品も多く残されている。その作品には牧歌的な叙情と、明朗な写実性が感じられるものが多いといわれている。

INTERNATIONAL LETTER WRITING WEEK

On the occasion of the International Letter Writing Week, a 100 yen postage stamp will be issued on October 6, 1980.

The International Letter Writing Week is intended to contribute to world peace through cultural exchange by letter writing which may increase mutual understanding among peoples with different languages, ways of thinking and customs. It originates from the 14th Convention of the Universal Postal Union held in Ottawa, Canada; it was resolved to designate one week in October including the 9th, the anniversary of the Universal Postal Union, the Letter Writing Week under which each member country was to institute the International Letter Writing Week according to its own conditions.

It will be the 24th International Letter Writing Week for Japan and various events and programs will be held throughout the country during the week October 6-12.

The design of the stamp is based on a section of a door of Japanese cedar board at the Daikakuji Temple in Ukyo-ku, Kyoto, depicting the dynamic beauty of cranes.

Motooki WATANABE (1683-1755), who executed the painting, had a close connection with the Temple and is said to have been a pupil of Korin Ogata; but he also left many works in the style of the Kano School. It is said that his works show pastoral sentiments and clear realism.

国際文通週間初日カバー（平成19年）

国際文通週間



東海道五拾参次之内「荒井(静岡県)」

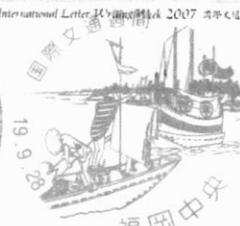
FIRST DAY OF ISSUE
平成19(2007年 9月28日(金))



International Letter-Writing Week 2007 国際文通週間



International Letter-Writing Week 2007 国際文通週間



伊藤 泉 様

国際文通週間切手

90円/110円/130円郵便切手
International Letter-Writing Week



International Letter-Writing Week 2007 国際文通週間



International Letter-Writing Week 2007 国際文通週間



International Letter-Writing Week 2007 国際文通週間



種類:

[1]90円郵便切手/[2]110円郵便切手/[3]130円郵便切手
※1シート10枚/1枚から販売します。

意匠:

歌川広重画 東海道五拾参次之内

[1]保土ヶ谷(神奈川県) [2]荒井(静岡県) [3]草津(滋賀)

発行日:

平成19(2007)年9月28日(金)

印面・小切れ寸法:

縦33.0mm×横45.0mm

シート寸法:

縦93.5mm×横250.0mm

版式刷色:

オフセット5色

デザイン:

玉木 明(切手デザイナー)

国際文通週間初日カバー (平成30年) — 50

速達

8380126



伊藤 采 様

30.10.10
0-8

国際文通週間
平成30年
FIRST DAY OF ISSUE
平成30年10月9日(火)

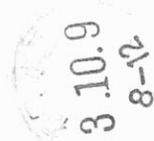
国際文通週間初日カバー 一—令和 3年—

速達

8 3 8 0 1



伊藤 泉 様



国際文通週間

FIRST DAY OF ISSUE
令和 3 年10月 8日 (金)